

【11月以降の活動予定他】

◎バスツアー 姫路城

日時：11月17日(日) 7:30~18:30

行先：姫路城 参加費：3000円

◎第6回グローバルセミナー

日時：11月30日(土) 13:30~14:30

場所：文化研修センター研修室4

◎第8回理事会 11月30日(土) 15:00~

◆市制20周年記念表彰を受賞

萩森 健治

10月5日、吉野川市市制20周年記念式典が鴨島公民館で開催され、市の活動に貢献した約80の団体や個人などが原井市長から表彰されました。その中で、

国際交流協会会長として多文化共生など地域社会づくりの向上に貢献した萩森健治が、江川の清掃活動等を通じて環境保全の推進に貢献したNPO法人江川エコフレンド(代表:瀬尾規子)が受賞しました。



◆浴衣・着物着付け体験

安部 正美

10月6日に浴衣・着物着付け体験会を実施しました。衣装は、小川和美さん・渡部真弓さんのご厚意により、打掛、羽織袴、ウェディングドレスに今回はチャイナドレスまでご用意くださいました。当日は、日本語教室受講生23人、着付け指導、国際交流協会関係者他13人の計36人が参加しました。始めに萩森副会長が用意した「あみだくじ」を参加者が引き、順番

に自分の選んだ浴衣に着替え記念撮影をしました。ベトナムから来日中のハンさんのお母さんも飛び入りでこの体験に参加し、大いに楽しみました。



また、着付け指導の乾さんは、子供用に七五三の衣装を準備し、ハンさんの娘さんとパキスタン出身のズレハさんの息子さんに着せてあげました。とても可愛らしかったです。羽織袴には3人の受講生が初体験。アトラクションとして渡部真弓さんが袴姿で日舞を披露しました。受講生の皆さんは思い思いのポーズで写真撮影をするなど、初めての体験に参加した皆さんは大喜びでした。そして、たくさんの笑顔を見て本当にうれしく思いました。



七五三衣装のモイス君



ハンさんの娘と母



◆遊墨アート展で「俳句・書道」の作品展示

萩森 健治

10月11～13日に鴨島公民館で「第14回遊墨アート2024」の作品展が開催されました。作品展では、「遊墨会」会長の吉野美苑さんや会員の皆さんによる書道・水彩画・俳句などの作品とともに、「俳句・書道ワークショップ」（9/15開催）の参加者による作品も展示されました。俳句・書道の作品は、日本語教室の外国人受講生やYIA会員などが俳句講師の上窪青樹さんや吉野美苑さんの指導を受けて制作したものです。竹で作った和紙に書いた俳句の作品は、きれいな色紙に張り付けられ、美的センスの高い立体的な配置で展示されていました。



第11番札所 藤井寺（金剛山）の拝観

三宅 ふさ代

私たち遍路ガイドのメンバーは、月2回のペースで勉強会をしてきました。その中で、実際に88カ所のお寺のいくつかに行くと学ぶことも多いのでは？という提案があがりました。そこで、田村代表が地元の藤井寺に、ご住職から直接お話をお聞きできないかと申し入れをしてきました。

10月8日10時にメンバー6名が事務所前に集まり、ご高齢（90歳）という福留住職が来られるのをお待ちしました。ご住職は淡いグレーの作務衣姿で、その瑞々しい語り口に一同はすぐさま引き込まれました。

弘法大師は弘仁年間この地を訪れ、三方を山に囲まれた幽すいな霊地に心ひかれ堂を建立し、山上の八畳岩で十七日間護摩修行後、堂前に五色の藤を植えられたと伝えられています。その後、藤井寺は多数の建物を持っていましたが、戦乱で焼き討ちに会い、現在は臨済宗の禅寺になっています。本尊は左手に薬つぼをたずさえ



る薬師如来で、重要文化財に指定されています。本堂大天井には林雲溪画伯による雲竜図が、大師堂の壁には林正明画伯により、寝釈迦嶺抱日が描かれています。

毎年5月第3日曜日に空海が歩いた遍路道を歩く「空海の道ウォーク」が開催されています。11番札所藤井寺から12番札所焼山寺までの山道コースと10番札所切幡寺から11番札所藤井寺までの平地コースに分かれ、藤井寺の境内は参加者で溢れます。

最後に横山さんがお寺の運営について尋ねたところ、「山林の管理には多額の費用がかかります。檀家はありませんが、札所としての運営は忙しく、両立に苦慮することもあります。」と、率直に話されていました。

◆元日本語教室の受講生のメール 村上 瑛一

2000年1月から2003年1月まで阿波町の縫製工場に居た郭曉丹さんからメールがありました。

9月10日は中国では教師節（教師の日）で、毎年この日にメールをくれるのですが、今年はAIを使って作ったと言う漢詩が送られてきました。教師節に当たって、私の名前と教師節日の一字を冒頭にもってくるという趣向で作った漢詩です。ちゃんと韻も踏んでいます。感心しました。

下記、それをご披露します。2段目は即興ですが私の訳詩、3段目はその説明文です。

村中桃李映春光，
上善若水润心房。
瑛珞璀璨师恩重
一德一心育栋梁。
教海无涯勤为舸，
师风有范德为航。
节来共祝园丁乐，
日暖风和桃李芳。

村中の桃李春光に映え
上善の若水心房を潤す
瑛珞璀璨として師恩重く
一徳一心棟梁を育む
教海涯（はてし）無く舸を為すに勤む
師風範有り徳（よ）く航を為す
節来りて共に園丁の楽を祝い
日暖かく風和やかにして桃李芳し

村中の桃李は春の光に映え
この上ない若みずのように心を潤す
瑛珞のように燦燦とした師恩は重く
一徳一心をもって世の人材を育て
果てし無い教えの海をゆく大船の操縦に励み
師の教え方はその航海にも似て模範的である
今、教師の日を迎えて共に庭の宴（うたげ）を祝い愉しもう
この日、風は暖かく和やかで桃李の香りが芳しい